



**2025年3月期
第2四半期(中間期)
決算説明資料**

2024年11月28日(木)

オーウエル株式会社

証券コード:7670

目次

1. 会社概要	2
2. 2025年3月期第2四半期(中間期) 決算概要	7
3. 中期経営計画 M/P 24-26	14
4. 2025年3月期 連結業績予想	30
Appendix	34

1. 会社概要

会社概要

1943年、3社の塗料販売店が合併して「近江屋興業」として設立
工業用塗料販売で国内トップクラスのコーティング関連事業、自動車向け半導体部品やソフトウェア等を扱うエレクトロニクス関連事業を展開

商号	オーウエル株式会社 / O-WELL CORPORATION
設立	1943年11月
所在地	<ul style="list-style-type: none">■ 本社:大阪市西淀川区御幣島5-13-9■ 東京店:東京都品川区北品川3-6-17
資本金	8億5,786万円
代表者	代表取締役社長 川戸康晴
事業セグメント	<ul style="list-style-type: none">■ コーティング関連事業■ エレクトロニクス関連事業
従業員数	連結:637名(2024年3月末現在) [平均臨時雇用人員:98名]
関係会社	<ul style="list-style-type: none">■ 連結子会社:17社■ 持分法適用関連会社:4社

拠点

日本全国各地のみならず、アジアを中心とした海外にも拠点を有する。海外においては、グローバル展開する日系の得意先を中心に、日本と同様の商品・サービスを提供

国内

45拠点※



グループ会社

サンマルコ株式会社	塗装工事、防水工事、ガラス工事、内装仕上工事等の請負及び設計・監理
オーウエルスーパービルド株式会社	塗装工事、土木工事、とび・土工工事等の請負及び設計・監理
オー・エー・シー株式会社	建設機械、産業用ロボット等の塗装請負
株式会社オーウエルカラーセンター	塗料の調色請負・塗板見本の製作受託
大洋ケミカル株式会社	塗料の調色請負
ユニ電子株式会社	ソフトウェア・半導体・集積回路・電子部品の販売・輸出入

海外

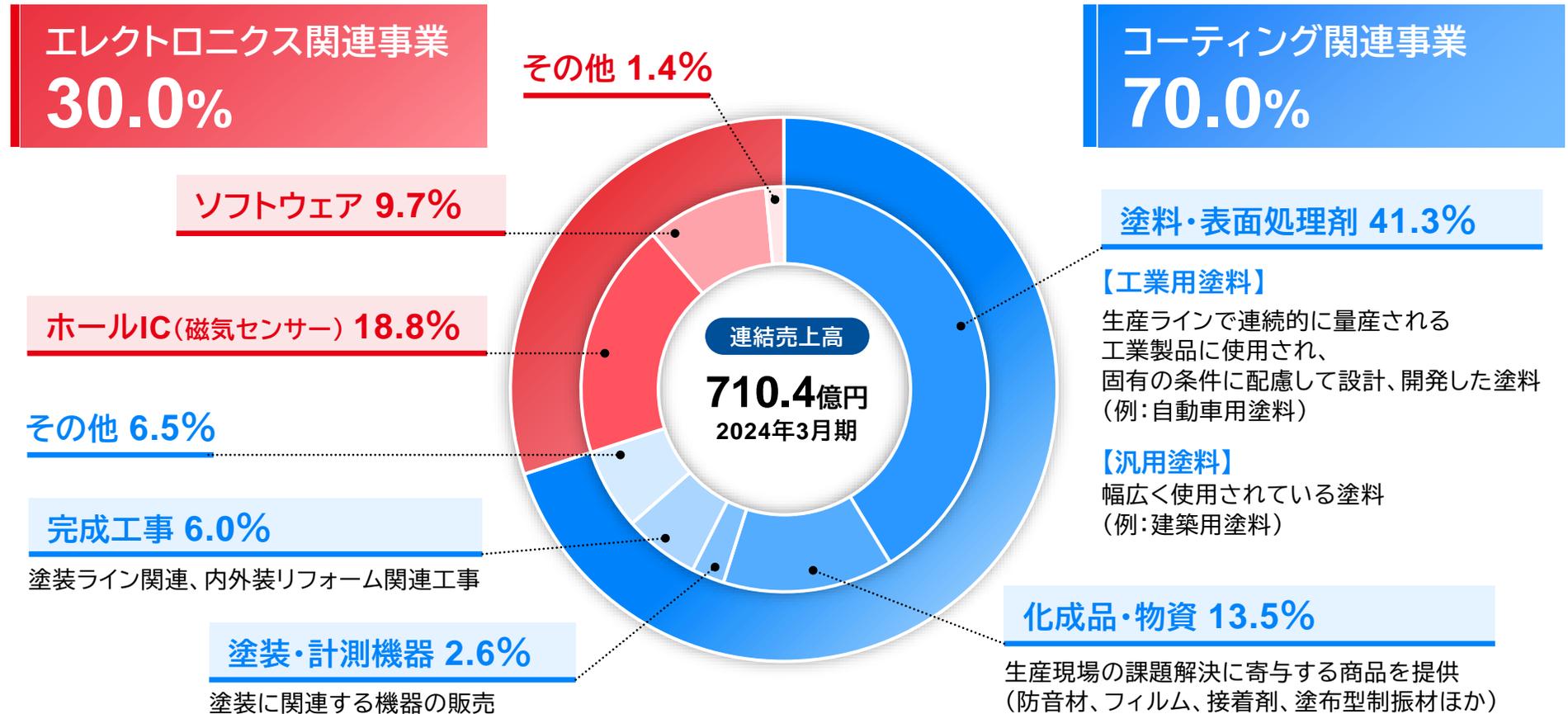
14拠点※



中国	奥唯(大連)貿易有限公司、奥唯(上海)貿易有限公司 奥唯(深圳)科技貿易有限公司
韓国	O-WELL KOREA CORPORATION
インドネシア	PT. O WELL INDONESIA
タイ	O-WELL (THAILAND) CO., LTD.
ベトナム	O-WELL VIETNAM CO., LTD.
メキシコ	O-WELL MEXICO COATINGS & ELECTRONICS S.A. DE C.V
インド	O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS PRIVATE LIMITED
シンガポール	UNI-ELECTRONICS PTE LTD.
香港	UNI-ELECTRONICS (HONG KONG) LTD.

※営業所、子会社、子会社の支店及び工場等の拠点を含む

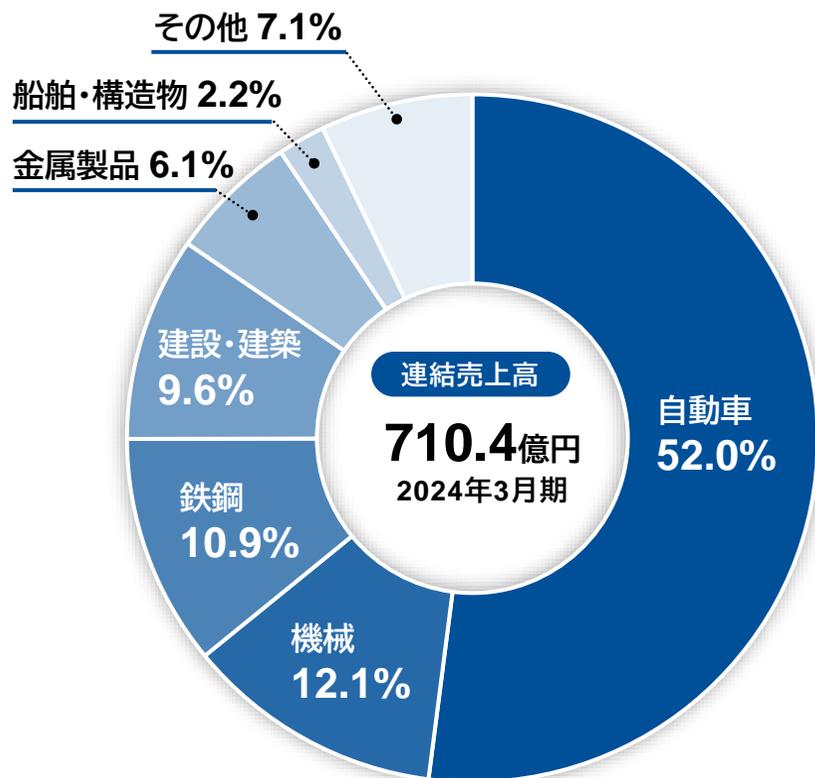
売上構成【事業・製品別】



売上構成【業種別・地域別】

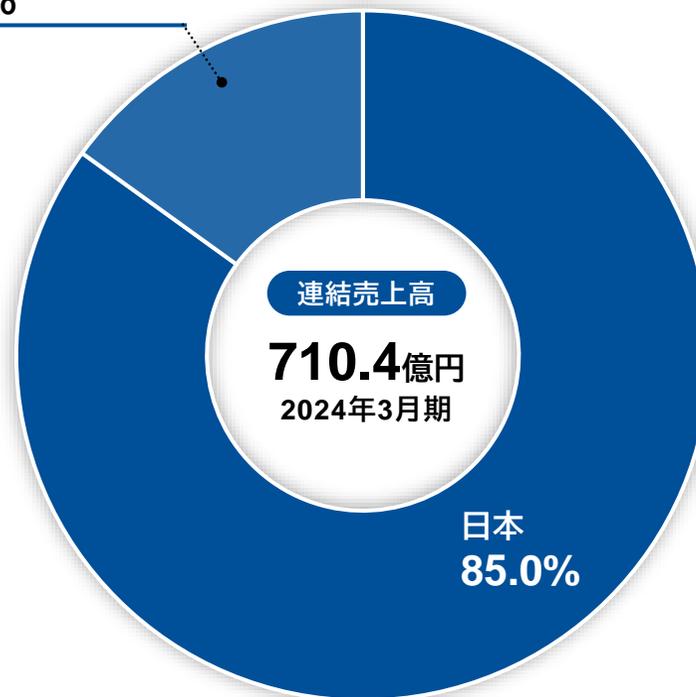
コーティング関連事業・エレクトロニクス関連事業ともに、自動車関連が売上高の中心を占める

業種別



地域別

海外(アジア、北米・中米他)
15.0%



2. 2025年3月期第2四半期(中間期) 決算概要

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績

- 当期実績は全ての項目で前年同期比を上回る
- 業績は、ほぼ予想どおりの進捗

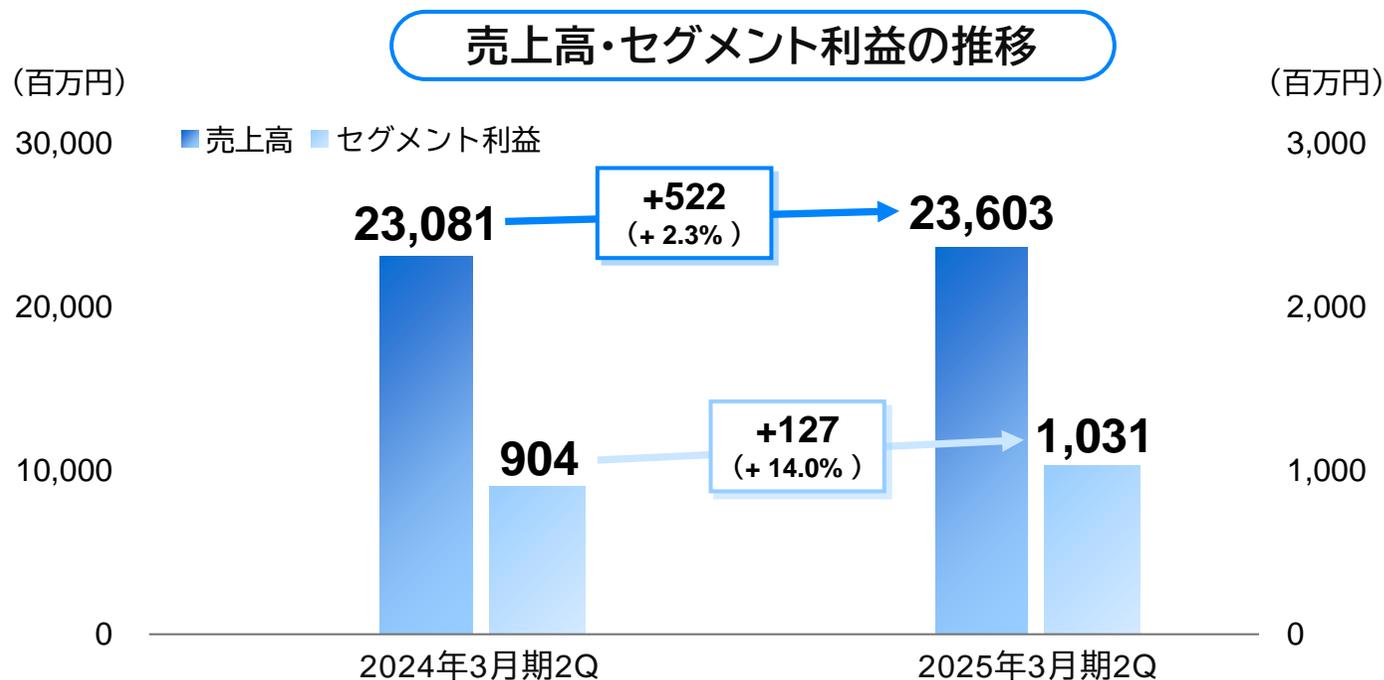
(百万円)

	2024年 3月期2Q 実績	2025年 3月期2Q 実績	増減額 (増減率)	2024年 3月期2Q 予想	差額 (達成率)
売上高	33,285	34,241	+ 956 (+ 2.9%)	34,000	+ 241 (100.7%)
営業利益	375	403	+ 28 (+ 7.4%)	400	+ 3 (100.8%)
経常利益	516	544	+ 28 (+ 5.5%)	550	▲ 6 (98.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	321	373	+ 52 (+ 16.2%)	350	+ 23 (106.6%)
一株当たりの 当期純利益(円)	31.44	36.45	+ 5.01 (-)	34.25	+ 2.20 (-)

2025年3月期第2四半期(中間期)セグメント別業績

コーティング関連事業

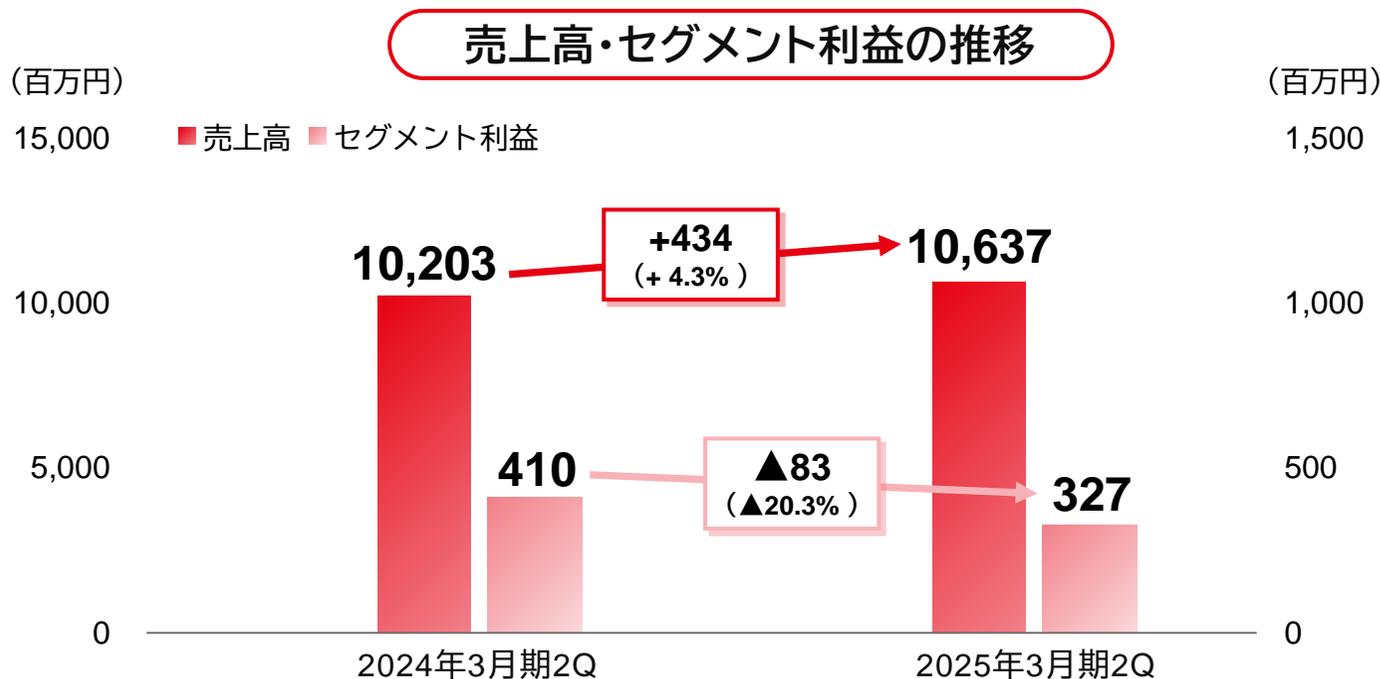
- 主たるお客様である自動車業界における国内生産台数は、前年同期比で減少
- 塗装設備や塗装・計測機器分野の受注増等により売上高は増加



2025年3月期第2四半期(中間期)セグメント別業績

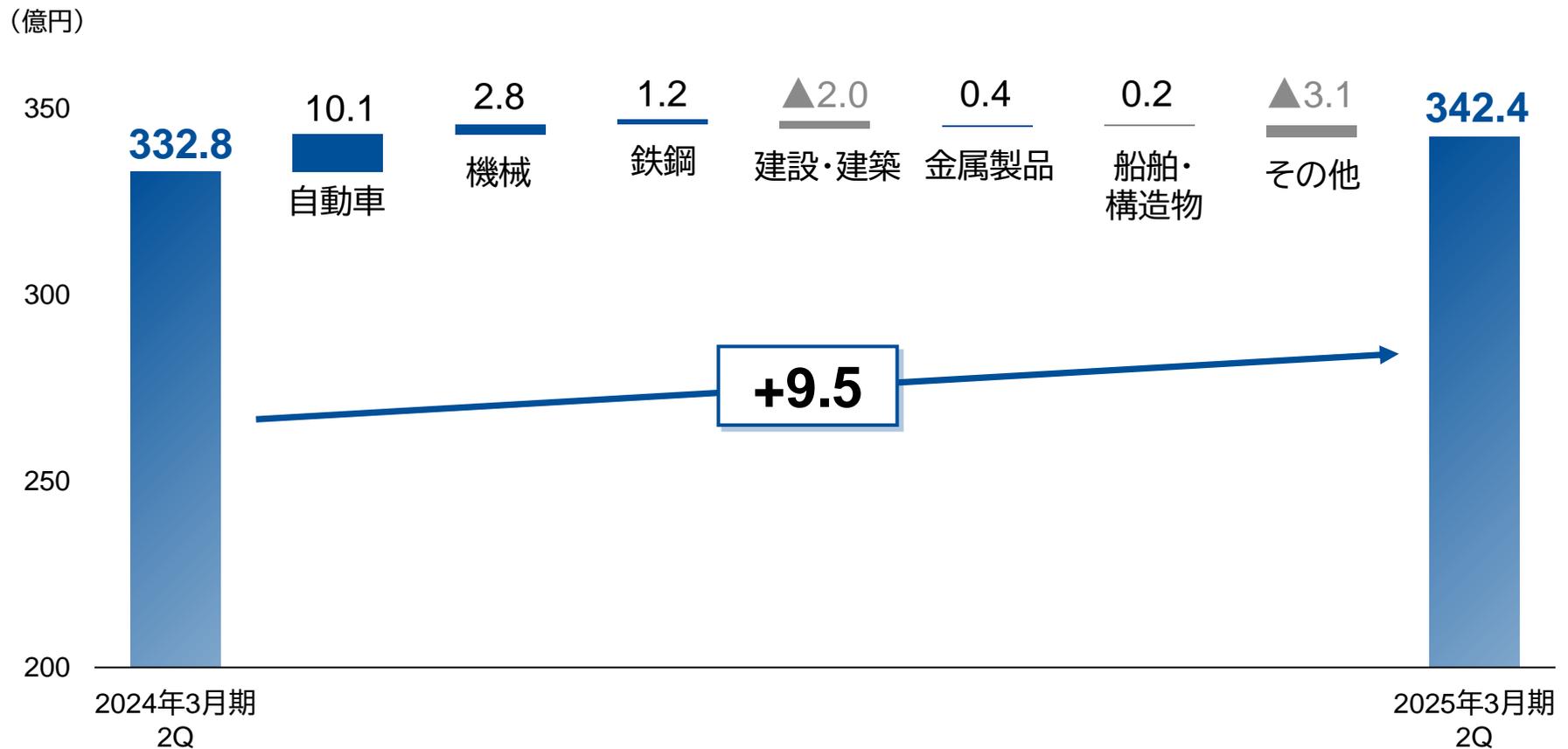
エレクトロニクス関連事業

- 主たるお客様である自動車業界における国内生産台数は、前年同期比で減少
- 為替が円安で推移したことにより売上高は増加
- 前連結会計期間の仕入価格改定に伴う在庫の平均単価の上昇により利益額は減少



業種別売上高の増減(前年同期比)

自動車については、塗装設備や塗装・計測機器分野の受注増等により増加



連結貸借対照表

前期末の休日影響により、流動資産(売掛金、電子記録債権)、流動負債(支払手形及び買掛金、電子記録債務)が減少

(百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期2Q末	増減額(増減率)
流動資産	31,530	28,864	▲2,666(▲8.5%)
固定資産	16,895	16,605	▲290(▲1.7%)
有形固定資産	3,650	3,623	▲27(▲0.7%)
無形固定資産	395	344	▲51(▲12.9%)
投資その他の資産	12,848	12,638	▲210(▲1.6%)
資産合計	48,425	45,469	▲2,956(▲6.1%)
流動負債	22,790	19,854	▲2,936(▲12.9%)
固定負債	4,631	4,587	▲44(▲1.0%)
負債合計	27,422	24,441	▲2,981(▲10.9%)
株主資本	14,448	14,510	+62(+0.4%)
その他の包括利益累計額	6,398	6,354	▲44(▲0.7%)
非支配株主持分	155	163	+8(+5.2%)
純資産合計	21,002	21,028	+26(+0.1%)
負債純資産合計	48,425	45,469	▲2,956(▲6.1%)
自己資本比率	43.1%	45.9%	+2.8pt

連結キャッシュ・フロー

- ・営業活動：前年第2四半期末の休日影響により、売上債権、仕入債務ともに減少
前期の投資有価証券売却により納税額は増加
- ・財務活動：子会社の短期借入金の圧縮により減少

(百万円)

	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,125	▲36	▲1,161
投資活動による キャッシュ・フロー	▲241	▲89	▲330
財務活動による キャッシュ・フロー	▲164	▲951	▲787
現金及び現金同等物の 期末残高	5,143	5,396	253

3. 中期経営計画 M/P24-26

10年後の目指す姿

グローバルブランド



の樹立

ブランドを支える
「柱」

- ▶ 信用力の継続
- ▶ 塗膜形成力の発揮
- ▶ 事業創造への挑戦

柱をつなぐ
「梁」

- ▶ DX
- ▶ SX
- ▶ 人的資本の充実

ものづくり現場の発展・進化をリードし、
持続可能な世界の創造・実現に貢献する

- ものづくり現場の「DX」と「グローバル化」
- 「商材提供」型から、
「ワンストップソリューション提供」型へ



内外環境の変化 【外部環境の変化】

1

経済環境

先進諸国の経済成長は鈍化～停滞する中で、
開発途上国の成長は継続

2

ものづくり現場

開発途上国では、日本のものづくり現場ノウハウに、
プレゼンスあり

3

上場企業を取り巻く環境

稼ぐ力の持続化とESG経営への取り組みを両立する
SXの実現に向けた説明～実践が求められる

内外環境の変化 【内部環境の変化】

1

政策保有株式の縮減と成長投資の実行

ソフトウェアの開発・販売におけるパートナーシップ強化のため
(株)ミックウェアの株式取得による資本提携

2

組織体制

組織については、顧客課題の抽出～解決を強化し、
更なるテーマ生成・拡大のために、2021年度に
改編した組織を継続する

グローバル展開では、インドに現地法人を設立、
メキシコ、インドネシアは、それぞれ営業拠点を拡充

対処すべき課題

1

OLDAS(塗装現場管理システム)の実装による
工業用塗装の省人化・高度化の具現

2

更なる機能発揮による付加価値の拡大～
収益性の向上

3

グローバルビジネスの創出・拡大

4

資源投入の見直し～事業投資(M&Aを含む)の拡充

5

人的資本経営の実現

報告セグメントの名称変更

塗料関連事業



コーティング関連事業

電気・電子部品事業

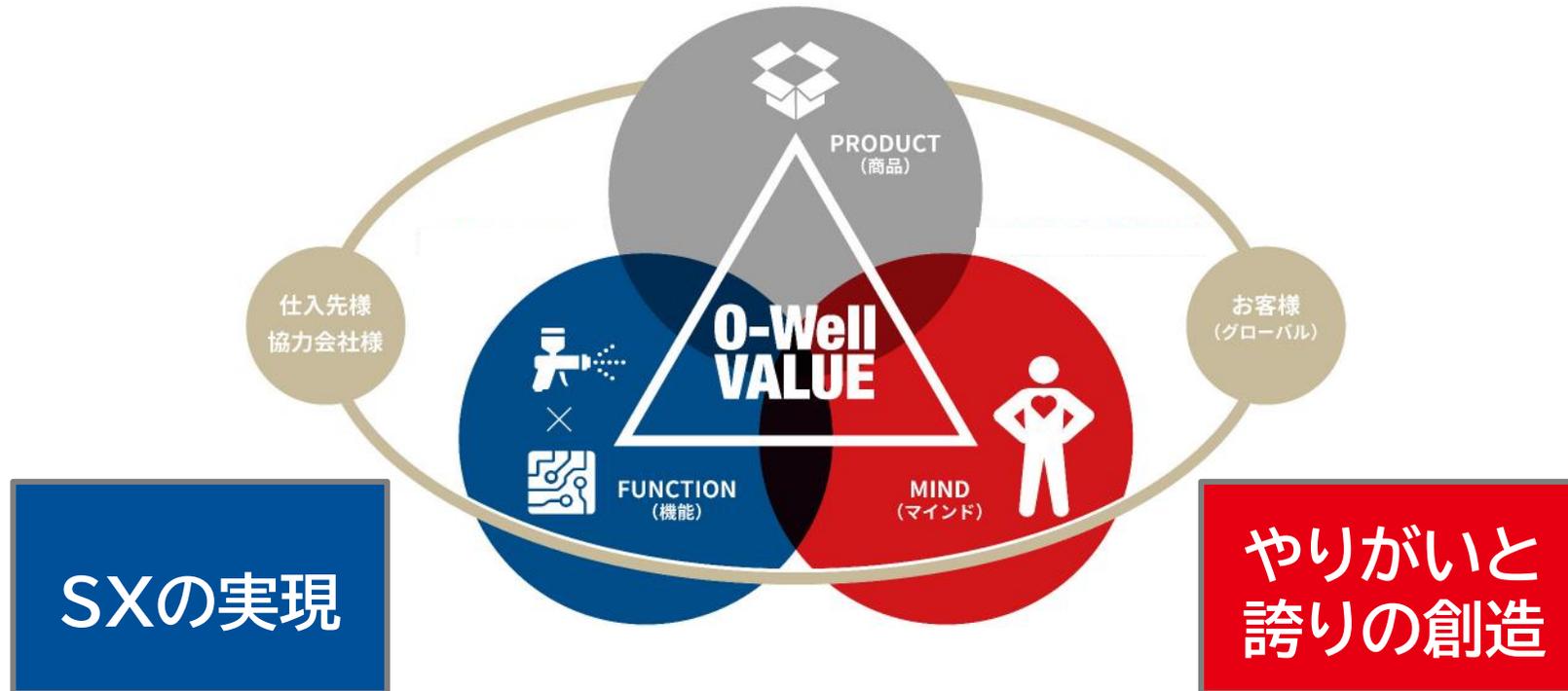


エレクトロニクス関連事業

「商材提供」型から、「ワンストップソリューション提供」型へ
より広範囲の課題解決を目指す

中期経営方針

提供価値を革新し、創造する



中期重点方針

コーティングの未来を創る

培ってきた塗膜形成力を核(コア)とした機能拡大を図ると同時に、未来のものづくりのイノベーションの中においても、我々の提供価値=ビジネス=利益を創る

中期重点方策

方策① 塗膜形成力を磨く



方策② 新たなコーティングビジネスを企画する



中期重点方針

提供価値を拡大する

これまで育んできたエレクトロニクス分野ビジネスで、
我々の発揮する機能を、さらに付与し、さらに拡大する

中期重点方策

方策① センサービジネスを拡大する



方策② 新しい機能を付与する



中期重点方針

資本効率を向上する

今後も社会的責任を果たしながら、持続的な発展と成長を遂げるために、保有・調達する資源(人、もの、金、情報、時間、知的財産)を、適切かつ効率良く活用する

中期重点方策

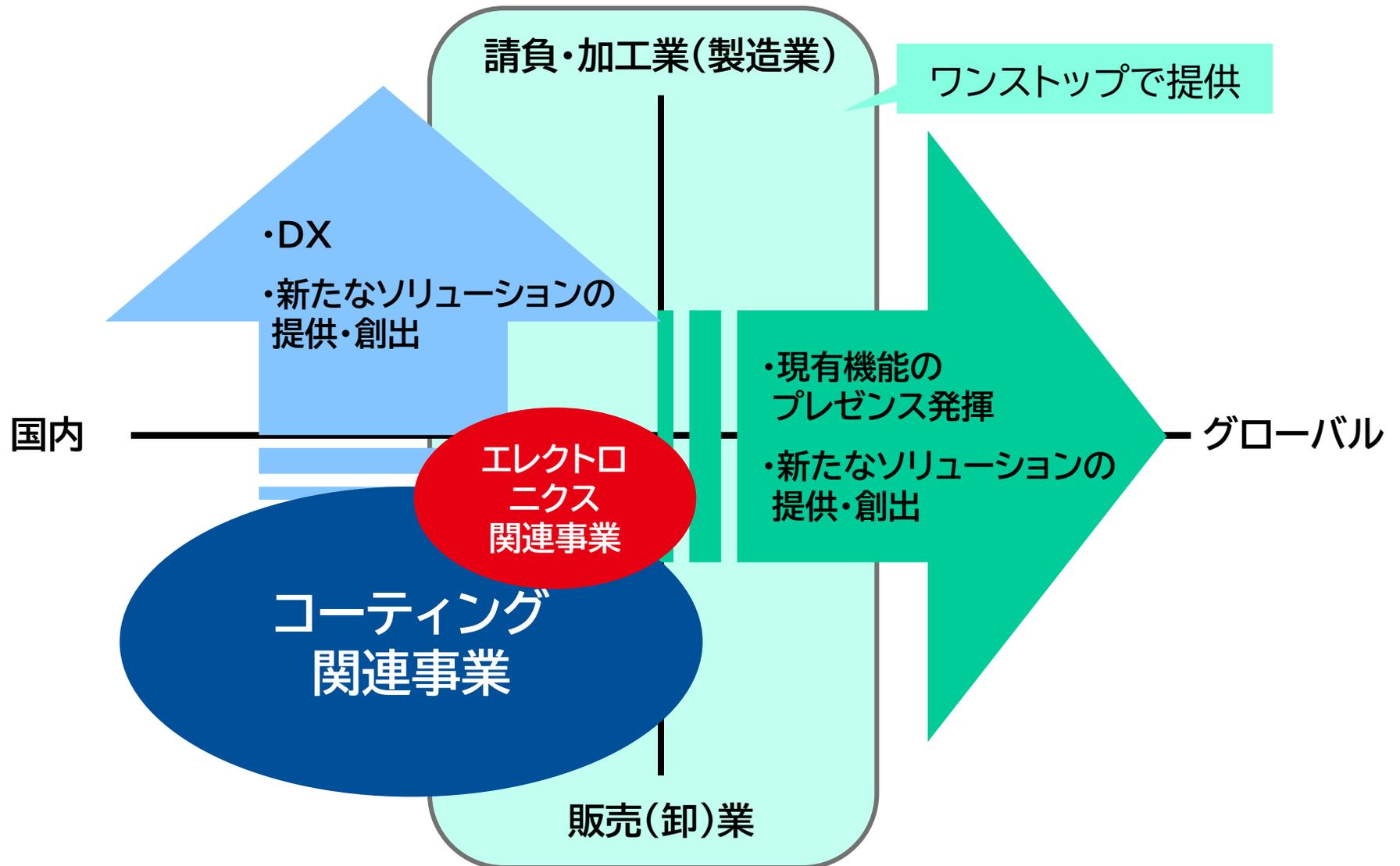
方策① 成長投資を実行する



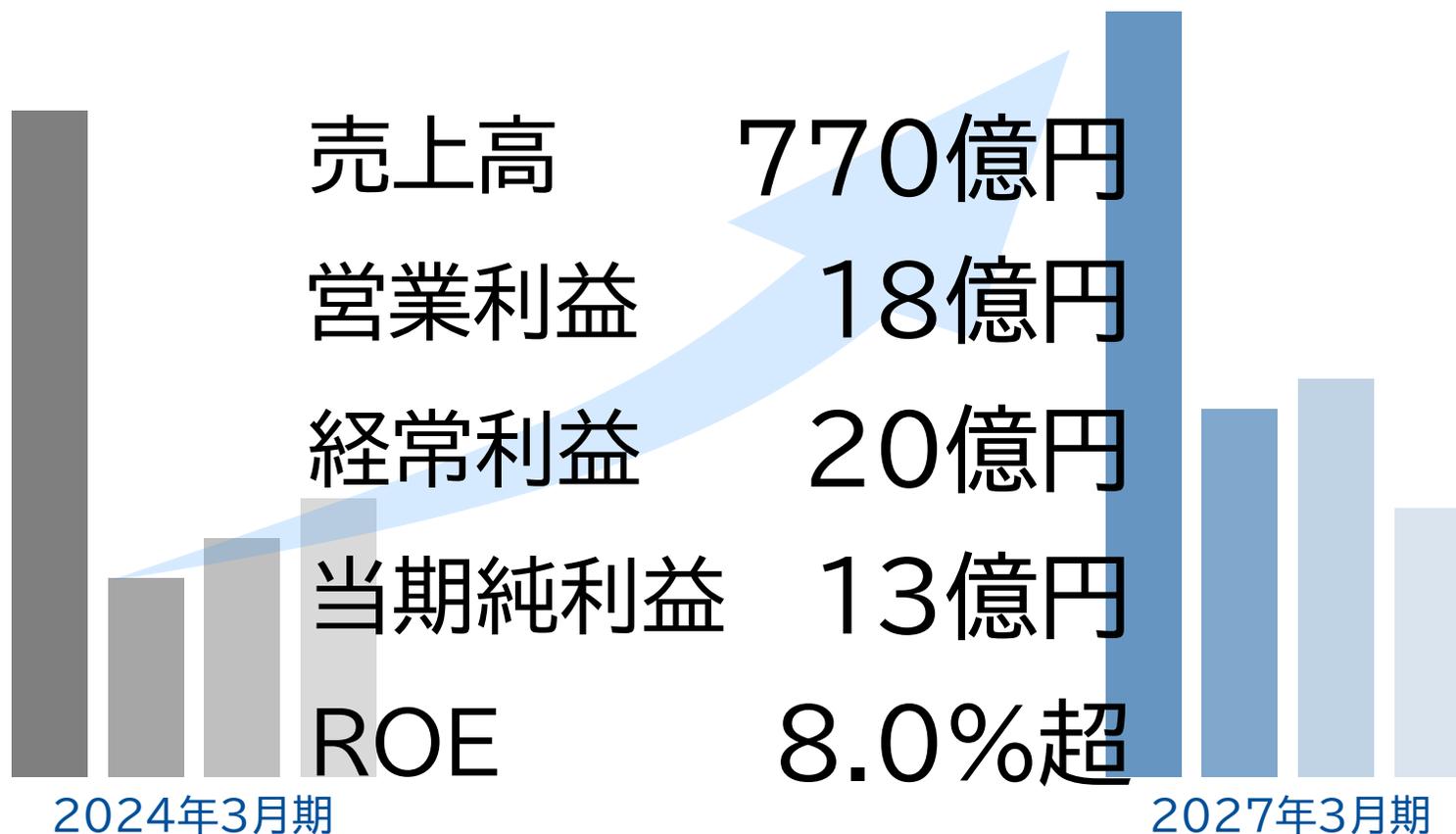
方策② 人的資本を充実する



当社グループの事業領域



2027年3月期目標(連結)



企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

《目標》 2027年3月期 ROE8.0%超

1

成長投資

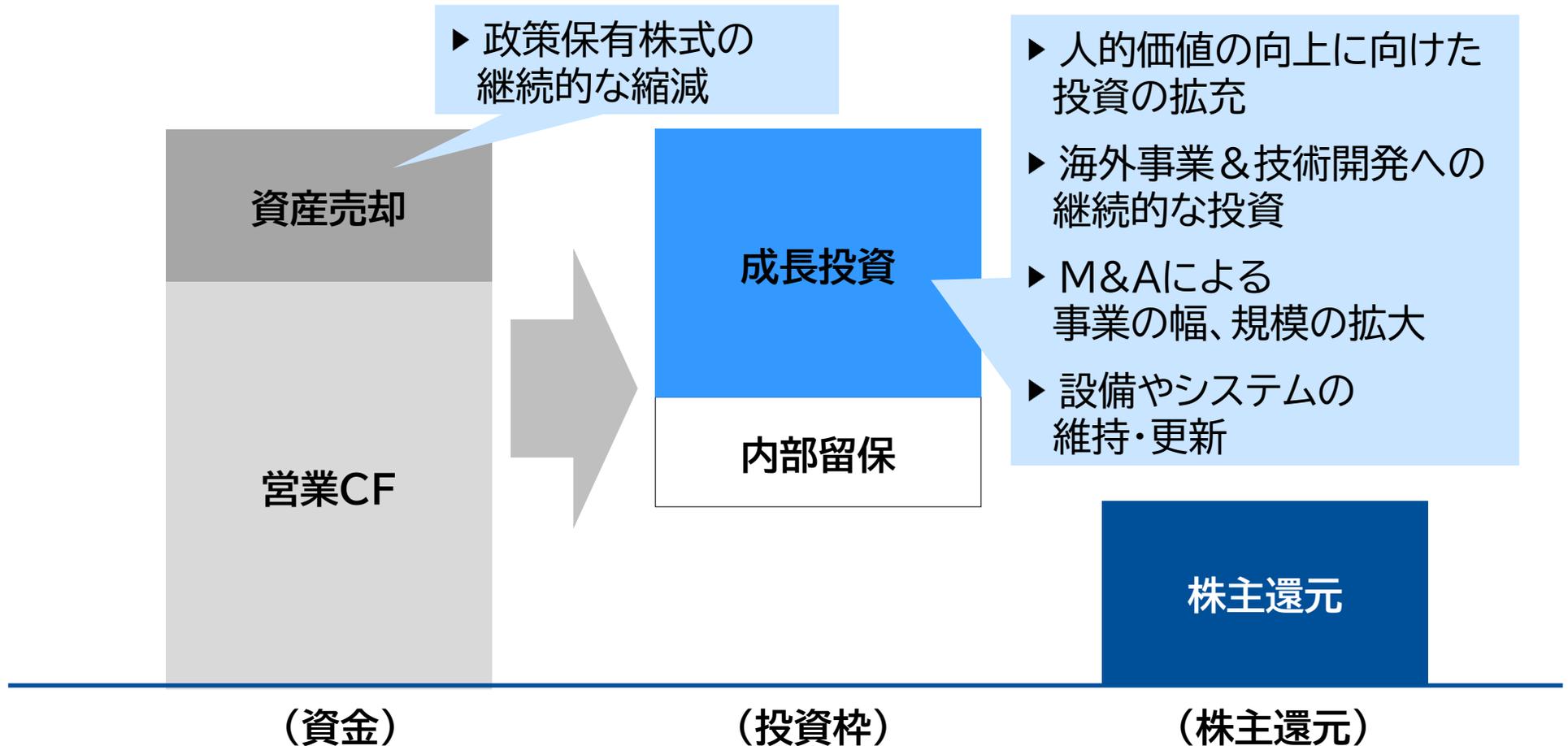
- ・人的価値の向上に向けた投資の拡充
- ・海外事業や技術開発への継続的な投資
- ・M&Aを含む成長事業への投資
- ・既存ビジネスの効率化～稼ぐ力の強化

2

財務戦略

- ・政策保有株式の継続的な縮減
- ・内部留保
- ・安定的かつ継続的な配当

成長投資、財務戦略の考え方



持続的な成長と企業価値の向上のため、
財務体質の強化と事業拡大のための内部留保を確保しつつ、
安定的かつ継続的な配当を実施していく

人的資本の充実に向けて

人口減少／少子高齢化

従業員の意識の変化
(働きやすさ重視)

従業員の意識の変化
(キャリア志向・プロ化志向)

(優秀)人材の流動化

テクノロジーの進展
(テレワーク・DX)



最適な人的ポートフォリオを
描き、実現する

人的価値を最大限に引き出す
ための人事制度を構築し、運用
する

4. 2025年3月期 連結業績予想

2025年3月期 連結業績予想

※2025年3月期通期連結業績予想に関しては、2024年12月13日付の「特別利益の計上(投資有価証券売却益)及び2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

売上高・営業利益・経常利益は増収増益の見込み

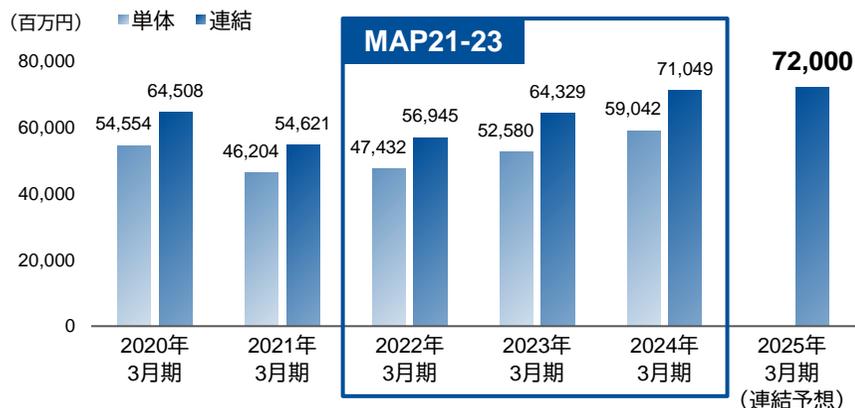
(百万円)

	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想	増減額 (増減率)
売上高	71,049	72,000	+951 (+1.3%)
営業利益	930	1,150	+220 (+23.6%)
経常利益	1,212	1,350	+138 (+11.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,526	900	▲626 (▲41.0%)
一株当たりの 当期純利益(円)	149.37	88.06	▲61.31 (-)

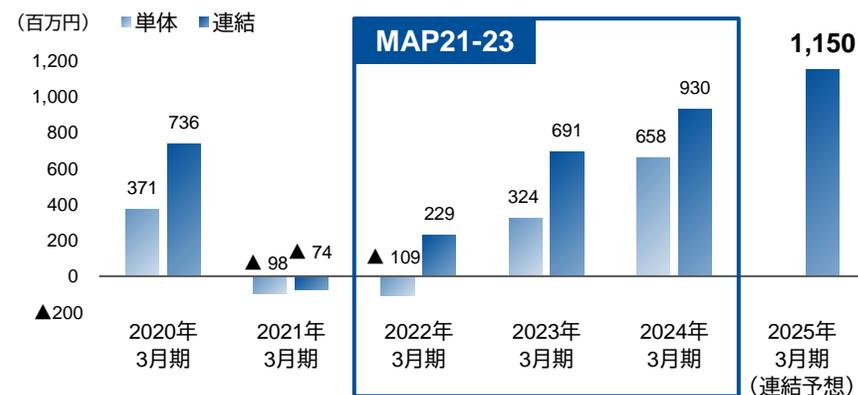
業績推移

売上高・営業利益・経常利益は右肩上がりで推移

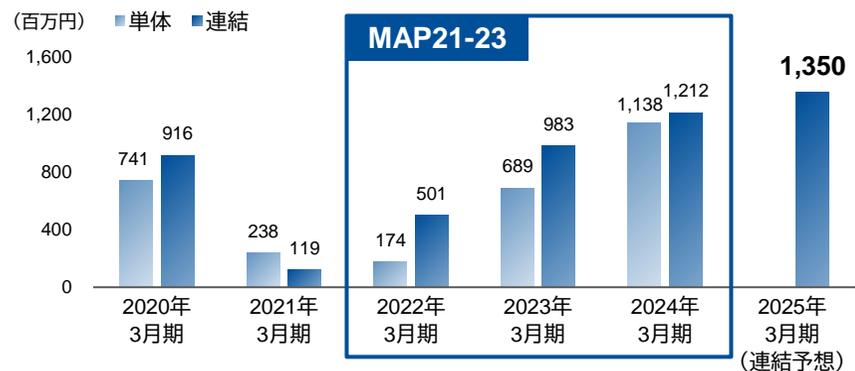
売上高



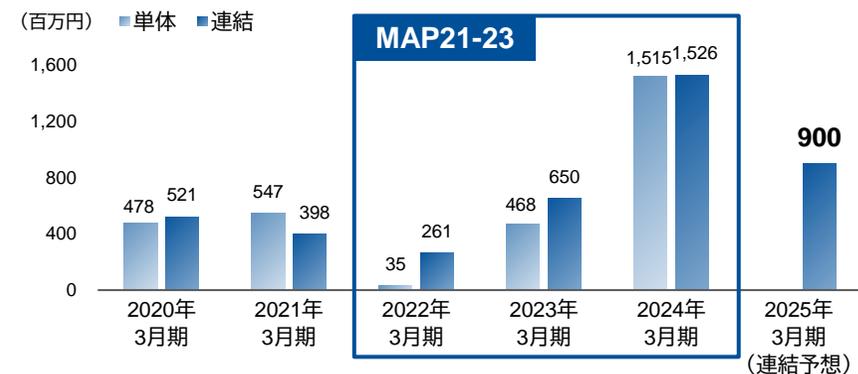
営業利益



経常利益

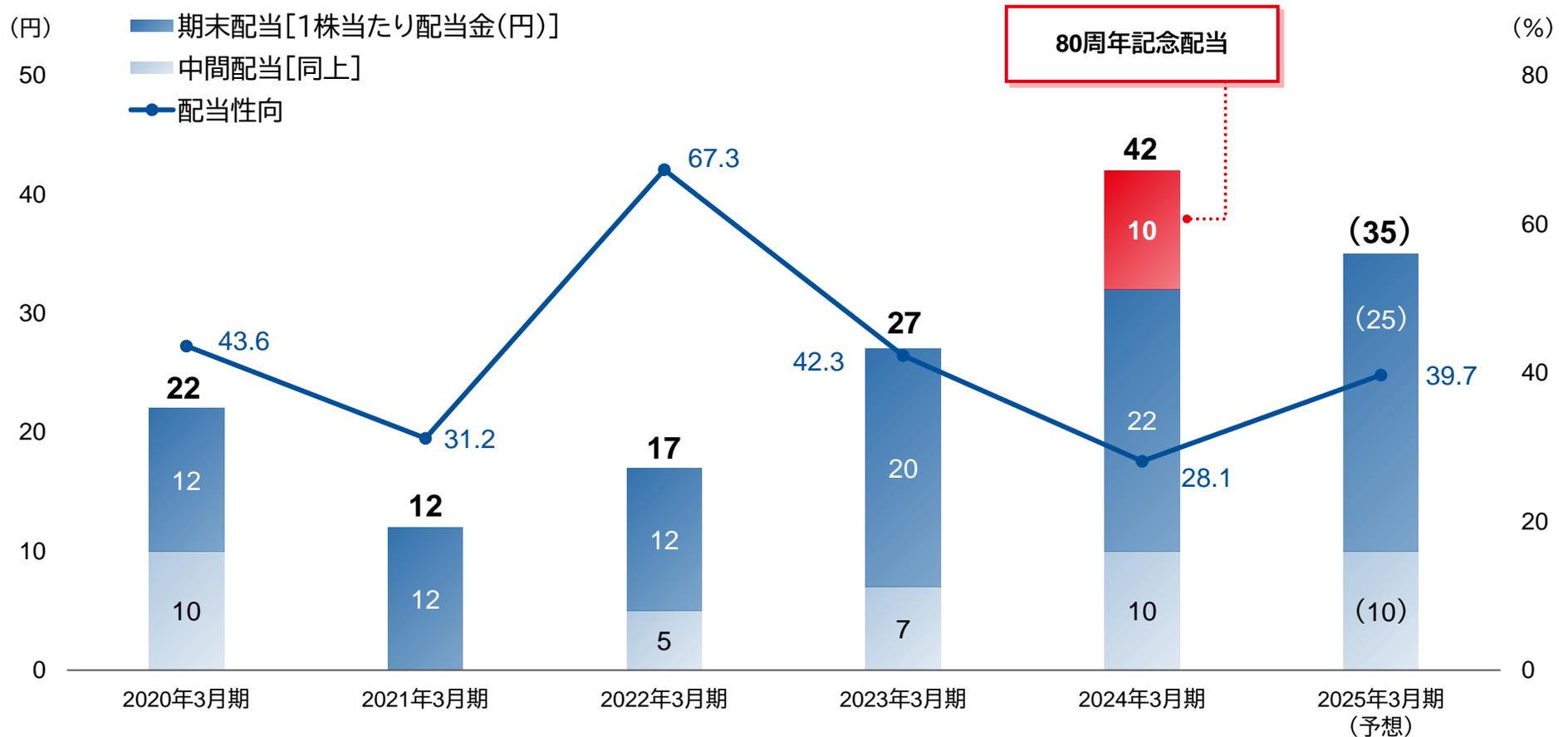


親会社株主に帰属する当期純利益



株主還元

中間配当は10円、期末配当は25円とし、年間配当は普通配当ベースで3円増の35円を予想



※2025年3月期予想は、2024年3月期の期末発行済み株式数（自己株式を除く）にて算出

Appendix

当社の強み

長年培ってきたノウハウ・技術や事業基盤を活かし、ワンストップでさまざまなお客様の課題解決に寄与

1



商社の枠を超えた
事業展開

2



安定した
事業基盤

3

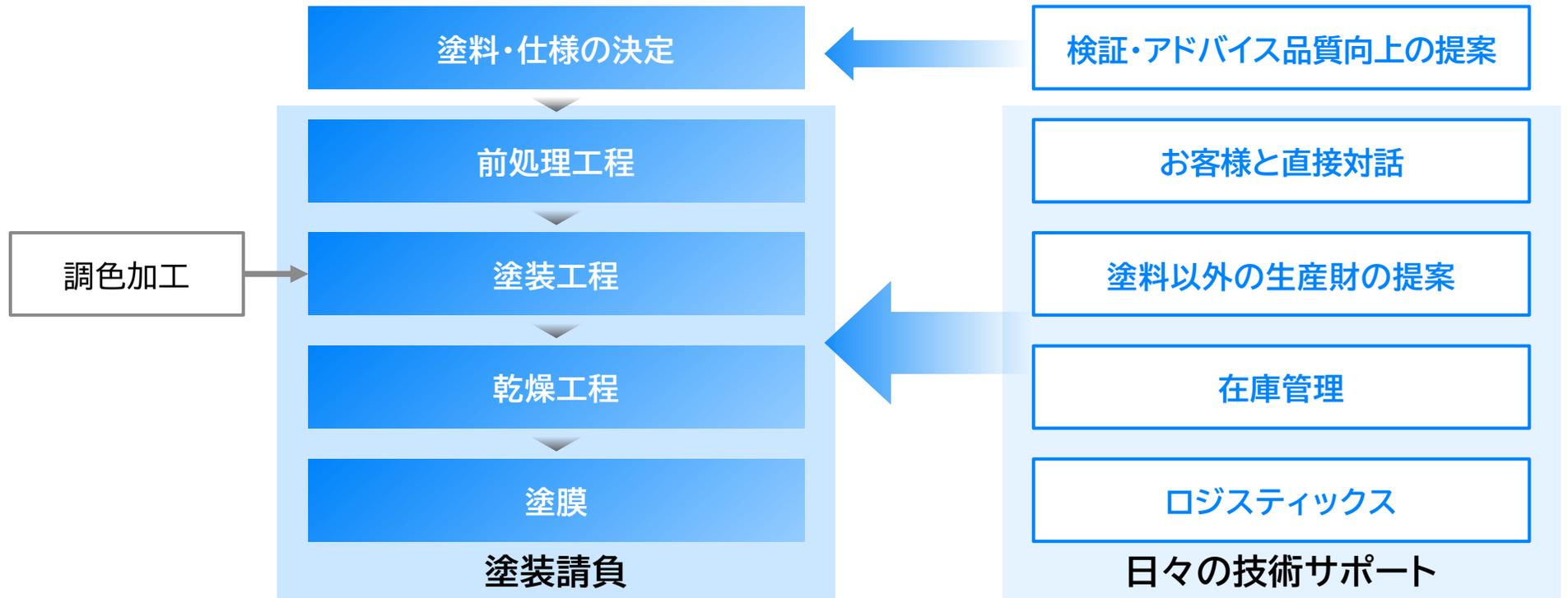


長年培ってきた
課題解決力

強み① 商社の枠を超えた事業展開

コーティング関連事業

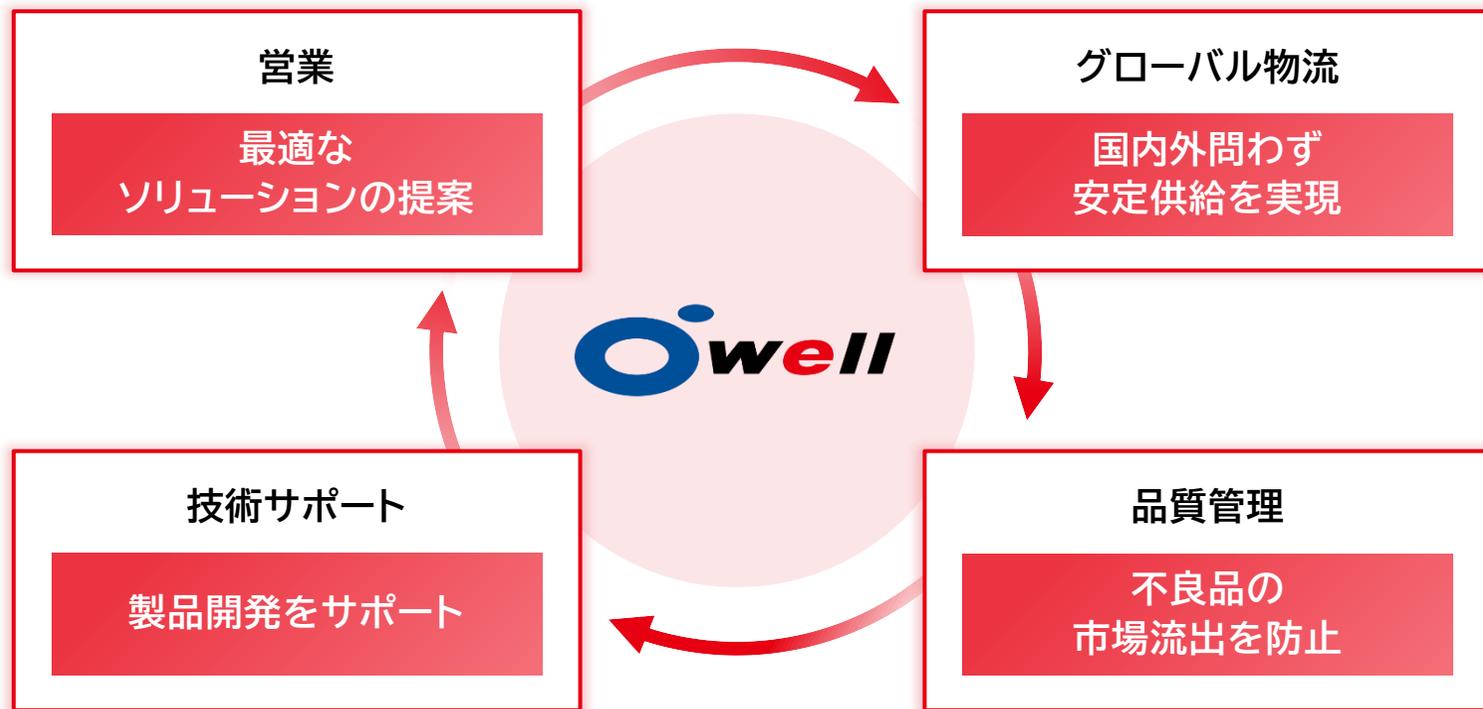
商品の仕入れ・販売だけでなく、技術サポートや品質管理など、幅広い工程をカバーするワンストップソリューションを提供



強み① 商社の枠を超えた事業展開

エレクトロニクス関連事業

商品の仕入れ・販売だけでなく、技術サポートや品質管理など、幅広い工程をカバーするワンストップソリューションを提供



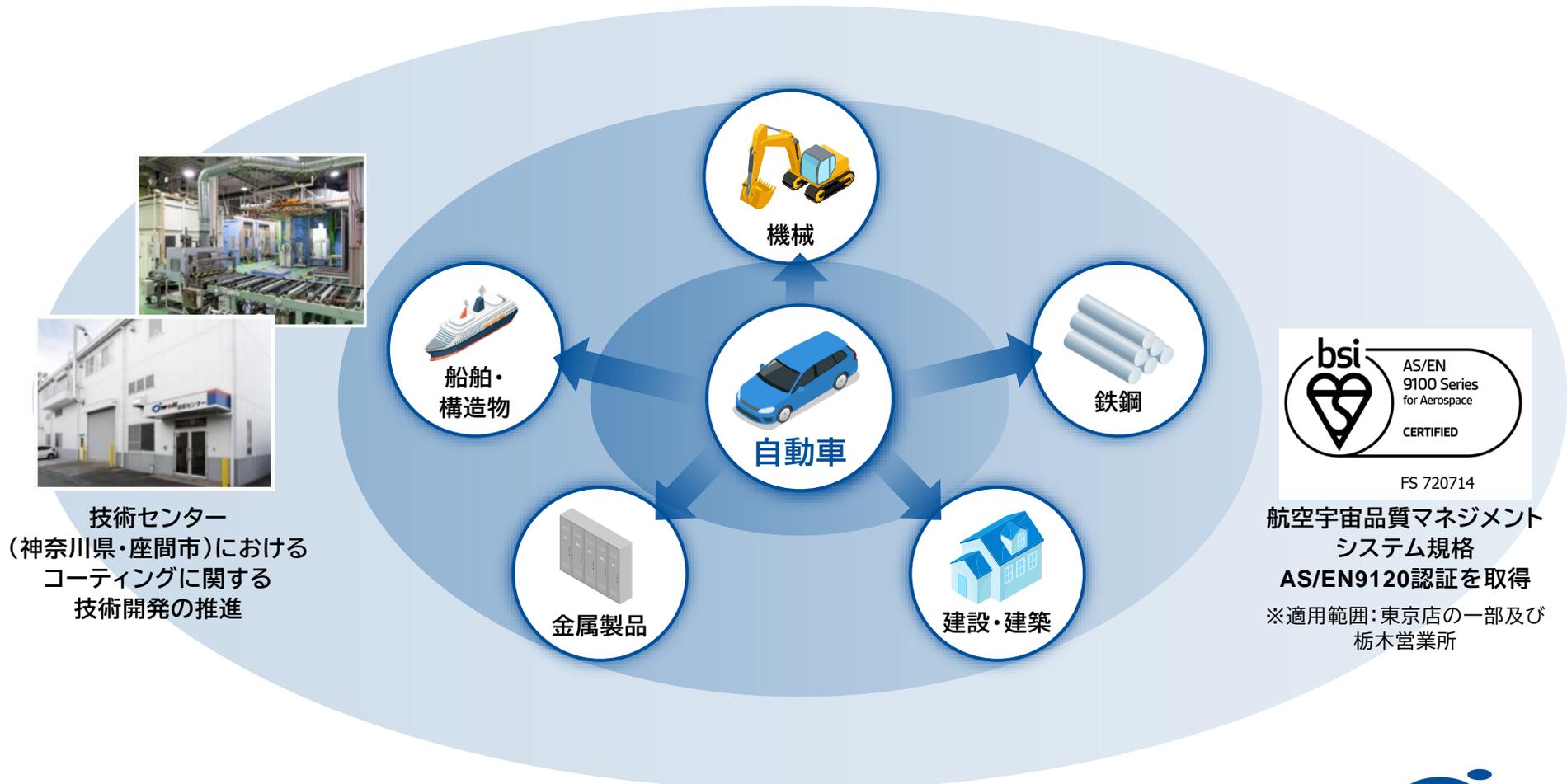
強み② 安定した事業基盤

独立系の商社として、特定のメーカーに依存せず幅広い仕入先と連携し、いかなる時も最も適したものを整え、期待に応えることで強固な顧客基盤を構築



強み③ 長年培ってきた課題解決力

厳しい水準が求められる自動車業界で培った塗膜形成技術を他業界でも展開。
さまざまな環境・条件においても安定した塗膜品質を提供



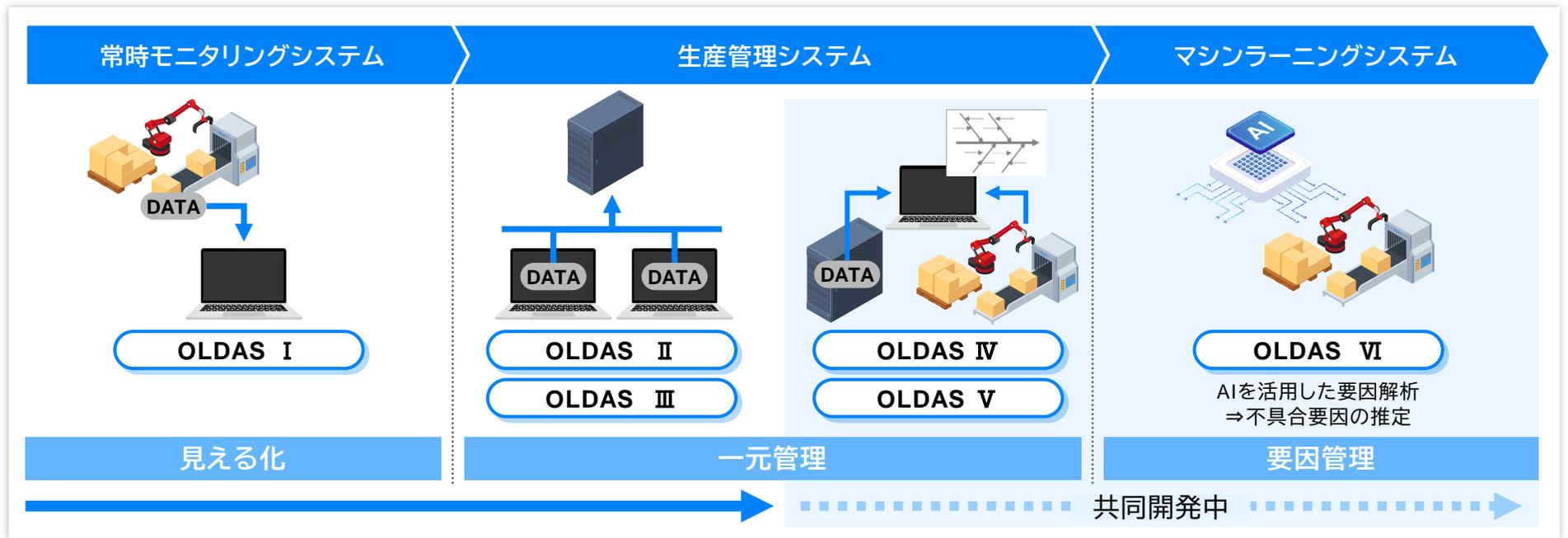
取り組み事例①

コーティング関連事業

塗膜形成力を磨く

OLDAS～塗装現場の高度化と省人化の実現～

- 現在の共同開発先との成果 『トレーサビリティの実現』
- リアルタイムで複数のパラメータを一元管理
- 不具合調査に掛かる時間を大幅に削減



取り組み事例②

コーティング関連事業

塗膜形成力を磨く

独自の塗膜形成技術を航空分野へ展開

- 機体外板にリブレット形状を大面積施工した航空機へ「Refresh(※)」マークを表示
(JAL・JAXA・オーウエルの共同開発)
- 2024年10月16日～19日に東京ビッグサイトで開催された2024国際航空宇宙展に出展



※Riblet Flight REsearch for carbon neutral

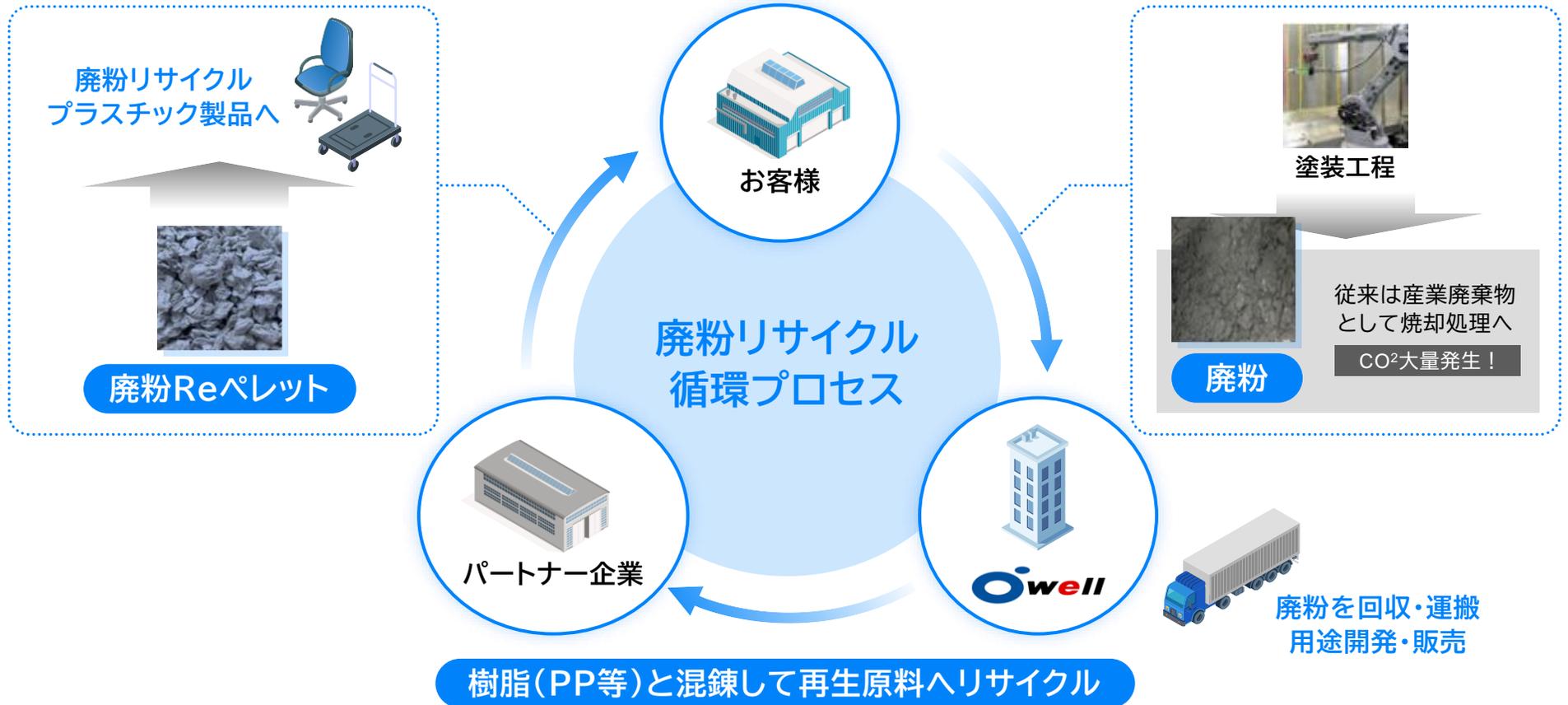


取り組み事例③

コーティング関連事業

新たなコーティングビジネスを企画する

粉体塗料の塗装工程で出てしまう廃粉体のリサイクル構想



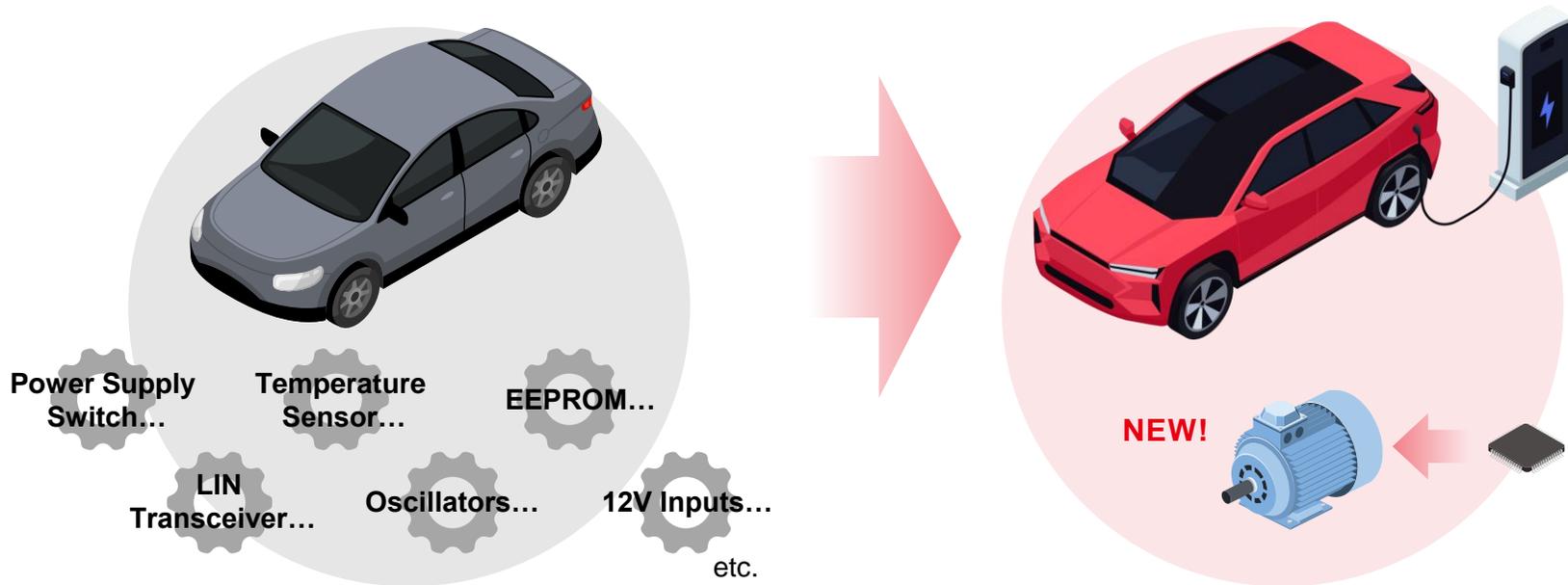
取り組み事例④

エレクトロニクス関連事業

センサービジネスを拡大する

車載マーケットに向けたテーマの創出

- 自動運転、電動化の領域で採用が広がるマイクロコントローラ テクノロジー
(モータに小さなICチップを組み込み、制御する技術)
- 周辺回路を内蔵し、小型化・軽量化を実現



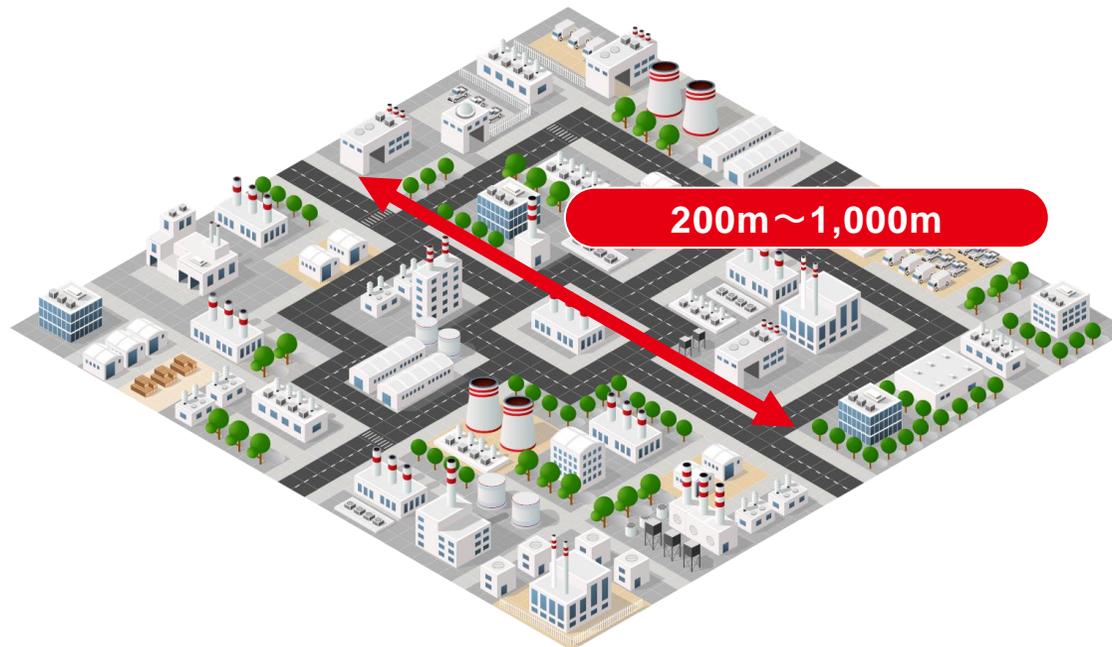
取り組み事例⑤

エレクトロニクス関連事業

新しい機能を付与する

当社お取引先の工場やプラントでは、有線設備の新設・維持・更新及び少子高齢化や人口減少による働き手の減少に伴い、DX化が大きな課題であった

- 最大1kmの長距離通信や映像伝送が可能になり、これまでのWi-Fi 製品との互換性もある長距離Wi-Fi 製品により、遠距離通信を低コストかつ簡便に実現



取り組み事例⑥

人的資本経営に向けた取り組み等

- 人事制度改定に着手

社員の心身の健康増進

- 経済産業省 健康経営優良法人2024認定
- スポーツ庁 スポーツエールカンパニー2024認定
- ワークライフマネジメント実現のための制度の整備



カーボンニュートラル達成への取り組み

- 温室効果ガスの削減を目指し排出量の算定を実施
- 環境貢献商品の拡販



EMS 60096

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、オーウエル株式会社(以下、当社という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済、社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本資料につきましては皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statement)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

執行役員 総務部・品質保証部担当
秋谷 浩史



TEL 06-6473-0138

Ö*well*